

赤十字国際ニュース

2017年 29号 2017年 8月 14日
(通巻 第 1231号)

日本赤十字社 国際部

東京都港区芝大門 1-1-3 TEL 03-3437-7087 / FAX 03-6679-0785

E-mail:kokusai@jrc.or.jp http://www.jrc.or.jp/

■国際人道支援を担う次世代要員の羽ばたき！

日本赤十字社（以下「日赤」）では、世界各地の人道支援ニーズに的確に応えるために、国際スタンダードの海外派遣要員の人材育成を行っています。模擬演習などを通じて国際活動への理解を深める「国際救援・開発協力要員研修（International Mobilization and Preparation for Action (IMPACT)研修）」は、海外で救援活動に携わりたいという熱い思いを持つ人々が新たに登録要員になるための登竜門であり、毎年日赤が開催しています。

今年も、2017年6月23日から6日間、東京近郊で開催され、日本各地の赤十字病院や、ネパール、フィジー、パキスタン、タイ、オーストラリア、香港などから集まった30人が、経験豊かな講師陣とともに、熱い議論を通じて知見を深めました。

6日間の研修では、近年の救援活動の潮流、赤十字の成り立ち、各国赤十字・赤新月社や国際赤十字本部との連携方法、国際人道法、赤十字の7原則、メディア対応、ジェンダーと多様性について、ボランティア管理について、チームワークに必要な資質、個人個人の安全管理、ストレス管理方法等がすべて網羅され、海外の現場に羽ばたくための必要な心構えと知識を身に付けることが目指されています。

研修中は実際の救援現場での状況を模擬演習として体験し、グループワークや事例研究など、さまざまな方法で知見を吸収していきます。各研修日程を通じて、架空の国での災害と紛争状況のシナリオが付与され、参加者は与えられた状況に対してチームで対応していくことになります。知識や理想通りには事が運ばない現場でのジレンマや、交渉・調整の困難さが実感され、最初は戸惑っていた参加者も日を追うごとに派遣要員としての自覚とノウハウを徐々に身に付けていく様子が伺えました。

研修最終日を迎えるころには、「多様な参加者の中で、国際的に活躍することの難しさや醍醐味を実感することができた」「非常に濃い内容だったけれども、議論や演習を通じて今は国際活動の現場の現実をより具体的に学ぶことができた。今は早く海外の現場に飛び立つ日が来ることを楽しみにしている」と参加者たちが語ってくれました。





また、ネパールから参加したアンジャン・アチャルヤさんは「ネパール大震災の時に多くの日本人の要員が現場に駆けつけてくれて間近で一緒に活動を共にしたが、今後同様に世界に羽ばたく日本人と一緒にこうして研修を受けられて本当に良かった。日本人の勤勉さや熱意から多くを学ぶことができた」と話していました。

各国の赤十字・赤新月社から国際的な救援・開発協力現場に派遣される人材はすべてこの IMPACT 研修を受けており、世界中で過去 30 年に 15 万人以上が赤十字要員として育成されています。今回 IMPACT 研修を修了した 30 人は、研修を通じて海外の現場に派遣された経験豊富な先輩からの体験共有や、国際活動の現場で長年活躍している海外及び日赤の講師からの多くを吸収して、今後「海外派遣要員」として登録され、突発的な災害に対応する医療チームや、復興支援・開発協力事業に携わる要員として現場で活躍することが期待されます。

* IMPACT 研修を受けるに当たって必須となるオンラインでの事前研修「World of Red Cross (WORC)」及び「Stay Safe (危機管理研修 I)」は誰もが受講可能です。赤十字の活動や基本原則、要員として知っておくべき基本的な危機管理意識を学ぶことができます。

<http://www.ifrc.org/en/get-involved/learning-education-training/learning-platform/>

～今回のニュースはいかがでしたか？**ご意見・ご感想**をお待ちしております～

良かった・もっと知りたいテーマや記事、改善してほしい点など下記アドレスにお寄せください。

ご意見・ご感想をいただいた方の中から抽選で毎月 1 名様に**赤十字グッズ**を差し上げます。

いただいたご意見・ご感想は今後本ニュース内でご紹介させていただく場合があります。

☆☆ 日本赤十字社国際部 kokusai@jrc.or.jp ☆☆